

第3回福井市空き家等対策協議会の議事要旨等及び対応等

1. 開催日時

平成29年11月27日（月） 13:30～15:00

2. 出席者

野嶋会長、歌門副会長、西行委員、細川委員、鈴木委員、田中委員、峯金委員、辰野委員、藤堂委員、平委員、事務局（欠席：吉田委員）

3. 議事要旨

- (1) 第2回福井市空き家等対策協議会の議事要旨等の確認
 - 福井市空き家等対策計画に係る方針や取組及び体制等について協議
- (2) 福井市空き家等実態調査の結果等について
 - 調査結果について報告・協議
- (3) 空き家等実態調査の結果等を受けた所有者意向アンケートについて
 - アンケート案について協議

<主な意見（順不同）>

- ア 10年、20年と経過していくと、A及びB判定がCやD判定になっていくであろうと思われる。現状の空き家対策も重要であると思うが、A及びB判定のものを今後劣化させないような予防策を発信していけたら良い。
- イ コミュニティーの中で利活用を行っていくとか、そのような取組は他自治体において行われている。福井市に関しては、これからこういった施策を行っていくということか。
- ウ 今回の実態調査で調査を行ったが、災害時を想定した場合は全く違う結果になるかもしれない。また、年数を経過していく中で、空き家の危険性は増大してくのではないかと心配であるため、空き家の所有者に対し管理責任を訴えていける活動ができればよい。
- エ 建物はC及びD判定程度のもので危険であるものであったとしても、敷地の利用があるということで、空き家対策の枠組みから外されてしまうということか。
- オ 調査の中で人の出入りがあって居住しているということが重要であると感じた。A及びB判定のものについては、ぜひとも流通に乗せてほしい。その際には、旧耐震の建物における支援も考えて欲しいと思う。
- カ 空き家の現状維持のために地域コミュニティに協力を得ながらということに関して、空き家になっていても自治会費を納めている場合があるため、その情報を得られると対策に繋がるのではないか。
- キ 空き家の所有者の悩みの一元的解決について、自治体が相談窓口となって建築団体を紹介する体制をとっていくのか、それとも、市と各団体の皆様が一同に会した相談の場を提供していくのか。